

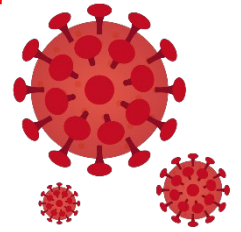
# 工学部セメスター派遣

## 2023年度募集説明会



# <注意> コロナウイルスによる影響について

- この説明の内容は、2022年12月時点のものです。
- 今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、派遣期間や派遣内容、選考スケジュール及び派遣の実施の可否において変更が生じる可能性があります。  
そのことを十分に理解いただいた上で、海外派遣に興味があり可能性に挑戦してみたいという方に応募してください。
- 本学として必要な情報は随時皆さんと共有しつつ進めていく予定のため派遣を希望される皆さん、また保護者の皆様におかれましては、状況に応じて適切な情報に基づき判断していただくとともに、大学としての危機対応方針および対策にご理解・ご協力をお願いします。
- 本派遣プログラムの物理的な渡航については、学生の皆さんの健康及び安全を第一に考え、「海外渡航・留学再開についてのガイドライン」に則り実施します。



# 0. 様々な留学の種類

## A. 留学目的

語学，異文化理解，専門分野入門，インターンシップ，学位取得，研究活動

## B. 留学期間

短期（～数週間），中期（1～6か月程度），長期（10か月～）

## C. 留学時期

夏休み／春休み，学期開講中，休学・卒業後等

## D. 留学先

東京農工大学海外協定校（学生交流協定あり／なし）  
海外大学全般

## E. 留学身分

短期派遣学生，交換留学生，正規留学生

## F. 留学費用

授業料自己負担，授業料免除，奨学金受給



# 1. セメスター派遣の特徴

- 3年後期の1セメスター（6か月）のみ
- 派遣先は学生交流協定のある海外協定校のみ
- 派遣先大学の授業料は無料
- 単位振替により留年なし（一定の成績を満たした場合）
- 企業インターンシップの機会（各自で責任をもって調整）
- 報告書提出等の義務や、第三国への不要な渡航禁止等の規定がある



# 1. セメスター派遣概要

留学期間：2023年7・8・9月～2024年1・2・3月

派遣先大学の学年歴に従うものとする

渡航条件その他制約を含め総合的に判断するため、状況に応じて派遣の中止（場合によってはオンライン講義のみ）や、派遣期間・時期の変更、派遣先大学の変更など、不測の事態が生じ得ます。

派遣先大学：工学部海外協定校13校

※2022年度実績としては、タイ（KMUTT）、マレーシア（UTM,MJIT）  
ドイツ（TMU）、オランダ（UG）に派遣

定員：計20名程度

※2022年度実績としては、計8名の派遣を実施

応募資格：

- ①2023年4月1日時点において工学部3年に在籍
- ②事前・事後研修に参加
- ③GPA2.5以上（欧州の場合は2.7）、英語能力基準達成 ※個別確認必要
- ④応募に際して学科委員の承認を得ること



## 2. 派遣内容

- ①英語での授業履修による単位認定  
(農工大での単位互換は所属学科及び委員会で定められたルールに基づく)
- ②ミニ卒業研究  
(派遣先大学においてスーパーバイザーのもとでのリサーチ・プロポーザル作成)
- ③企業インターンシップ (自身により調整, 大学のサポートあり)  
(ヨーロッパの派遣先大学を除く、2～3週間程度)  
※ コロナ禍の状況に応じて
- ④現地体験、学生との交流など  
※派遣内容についても渡航時期の影響を受けて変更となる可能性有



### 3. 留学費用 <必要経費>

## 約550,000円～1200,000円程度

- 民間英語検定試験の受検料 (TOEICだと6,000円、TOEFL iBTだと25,000円程度)
- パスポート取得代 (16,000円程度)
- 予防接種代 (国・個人判断によるが20,000円程度)
- 教育ビザ取得代 (10,000円～20,000円程度)
- (教育ビザ解除代) (5,000円～10,000円程度)
- 現地宿舎代 (大学近辺、企業インターンシップ近辺ホテル)  
(30,000円～60,000円程度/月、多いところで50,000円程度/2週間程度)
- 現地移動費 (含む空港から宿舎までの移動、企業インターンシップ時)
- 往復航空チケット代 (国・キャリアによるも、80,000円～160,000円程度)  
(一部大学が負担する可能性あり) 2021年度は大学が5割負担
- 海外旅行保険代 (10,000円程度)
- 現地生活費 (食費等) (30,000円～80,000円程度/月)
- 派遣先大学の登録事務手数料 (30,000円程度)



※ 留学中も休学せずに農工大に在籍し、  
農工大の授業料は支払う

# 3. 留学費用＜奨学金＞

## 奨学金

- 希望する者は、各自で最新の情報を調べて、手続きを行ってください。
- ※コロナ禍により変更となる可能性があります。
- 
- ●JASSO海外留学支援制度奨学金
  - アジア：月7万円程度、ヨーロッパ：月8万円程度
  - ※この奨学金は本募集とは別途申請の上、支給の可否が決定されます。
  - 主な申請資格は以下の通り。

- ① 前年度（2021年度）の成績をもとに計算したJASSO成績評価係数(GPA)が3.00満点で2.30以上である者
  - 「計算式」
    - $$\text{JASSO成績評価係数} = \{(\text{評価Sと評価Aの総単位数}) \times 3 + (\text{評価Bの総単位数}) \times 2 + (\text{評価Cの総単位数}) \times 1 + (\text{評価Dの総単位数}) \times 0\} \div (\text{評価S} \sim \text{評価Dの総単位数})$$
- ① 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者
  - ※他団体等から留学のための奨学金を受ける場合、その奨学金の支給月額合計額がJASSO奨学金の支給月額を超えなければ併給が可能。
  - ※2021年度は、渡航期間が9か月以上のもののみ支給対象だったため、本 Semester 派遣は対象外
  - 
  - ※その他、民間の奨学金などを各自で探してきて個人の責任において応募することは可能です。
  - その際、大学からの提出書類を求められた場合は可能な範囲で対応します。
  - また、JASSO奨学金の状況次第では、併給の可否および上限額などの確認が必要ですので、
  - 状況に応じて個別にご相談ください。





# 4. 派遣先：工学部海外協定大学



ドイツ

ミュンヘン工科大学



タイ

キングモンクット  
工科大学トンプリ校



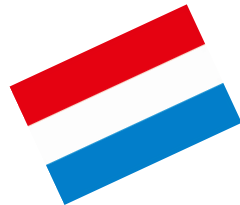
フィリピン

フィリピン大学ディリマン校  
デ・ラサール大学  
セントルイス大学



イタリア

マルケ工科大学



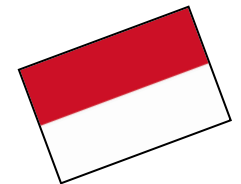
オランダ

フローニンゲン大学



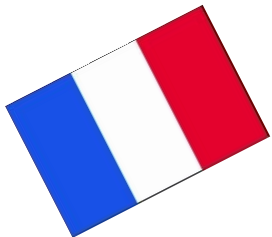
マレーシア

マレーシア工科大学  
マレーシア日本国際工科院



インドネシア

バンドン工科大学  
インドネシア大学



フランス

モンペリエ大学



フィンランド

オウル大学

# KMUTT キングモンクット工科大学トンブリ校

<国・地域> タイ・バンコク

<期間> 2022年7月30日～12月15日(2022年度)

<定員> 5名程度

<学べる学部・学科>

Automation Engineering, Automotive Engineering, Chemical Engineering, Civil Engineering, Computer Engineering, Electrical and Computer Engineering, Electrical and Information Engineering, Electrical Communication and Electronic Engineering, Environmental Engineering, Bioscience, Computer Science, Information Technology

<インターンシップ企業例> FCラボ、三菱電機、Summit Electronic Company

<宿舎> U-Residence

<Application 提出期限> 2022年6月10日(2022年度)

<派遣実績> あり(2018年度5名、19年度2名、21年度1名、22年度2名)

<特徴> きめ細かなケア、次年度に再び短期(2か月)派遣も可能!

**早く行き、早く帰りたい人にお薦め**

<窓口教員> A科 中條先生

<大学参考Web> <http://global.kmutt.ac.th/academics/international-study>

<http://global.kmutt.ac.th/academics/exchange-programs/programs-of-study>



# UTM マレーシア工科大学

<国・地域> マレーシア・ジョホールバル

<期間> 2022年10月1日～23年2月28日(2022年度)

<定員> 5名程度(MJIITと合わせて)

<学べる学部・学科>

Biomedical Engineering & Health Sciences, Chemical & Energy Engineering, Civil Engineering, Computing, Electrical Engineering, Mechanical Engineering

<インターンシップ企業例> アミタ、ダイハツ、IBDハーバル、ELS、Panasonic、キューピー

<宿舎> 学内の国際生専用の寮

<Application提出期限> 2022年7月31日(2022年度)

<派遣実績> あり(2018年度10名、19年度3名、21年度2名、22年度2名)

<特徴> マレーシア工科大学の雄、多くの留学生

充実した設備、8月は日本にいたい人にお薦め

<窓口教員> U科 山下先生

<大学参考Web> <http://www.utm.my/international/utm-student-exchange-program/>



# MJIIT マレーシア日本国際工科院

〈国・地域〉 マレーシア・クアラルンプール

〈期間〉 2022年10月1日～23年2月28日(2022年度)

〈定員〉 5名程度(UTMと合わせて)

〈学べる学部・学科〉

Chemical Process Engineering, Electronic Systems Engineering, Mechanical Precision Engineering

〈インターンシップ企業例〉 アミタ、ダイハツ、IBDハーバル、ELS、Panasonic

〈宿舎〉 学内の寮

〈Application提出期限〉2022年6月30日(2022年度)

〈派遣実績〉 あり(2019年度2名, 2021年度1名, 2022

〈特徴〉 首都にある日本との縁が深い大学

UTMの一組織として2010年に設立

8月に日本にいたい人、英語に不安がある人にお薦め

〈窓口教員〉 U科 山下先生

〈大学参考Web〉 <http://mjiit.utm.my/jp/> <http://mjiit.utm.my/ug-courses/>



# ITB バンドン工科大学

<国・地域> インドネシア・バンドン

<期間> 2022年8月～12月(2022年度)

<定員> 5名程度(UIと合わせて)

<学べる学部・学科>

Chemical Engineering, Mechanical Engineering, Aerospace Engineering

<インターンシップ企業例> Paragon Technology & Innovation

<宿舎> キャンパス近くにある留学生専用の寮

<Application提出期限> 2022年4月15日(2022年度)

<派遣実績> あり(2019年度2名)

<特徴> インドネシア工学系の最高学府

充実した設備 レンゴロ先生の出身校

<窓口教員> U科 レンゴロ先生

<大学参考Web> <https://www.itb.ac.id/>

<http://www.international.itb.ac.id/web/> <https://usm.itb.ac.id/wp/>



# UI インドネシア大学

<国・地域> インドネシア・バンドン

<期間> 2022年9月～23年1月(2022年度)

<定員> 5名程度(ITBと合わせて)

<学べる学部・学科>

Chemical Engineering, Mechanical Engineering, Aerospace Engineering

<インターンシップ企業例> Paragon Technology & Innovation

<宿舎> 学内の寮もしくは ホームステイ(教員宅)

<Application提出期限> 2022年4月15日(2022年度)

<派遣実績> あり(2018年度1名、19年度2名)

<特徴> インドネシアの最高学府

広大なキャンパス 本学出身の先生

独自の奨学金あり

<窓口教員> L科 養王田先生

<大学参考Web> <http://www.ui.ac.id/en/>

<https://www.dropbox.com/s/uehadomeejlbl02/3.%20UI%20Study%20Abroad%20Booklet%20%28Int%20Student%29.pdf?dl=0>



# UPD フィリピン大学ディリマン校

<国・地域> フィリピン・ケソン

<期間> 2022年9月～12月(2022年度)

<定員> 5名程度(欧州・フィリピン3大学と合わせて)

<学べる学部・学科>

Chemical Engineering, Computer Science, Electrical & Electronic Engineering, Mechanical Engineering

<インターンシップ企業例> ヤマハ発動機、化成工業グループ

<宿舎>

<Application提出期限> 2022年4月30日(2022年度)

<派遣実績> なし

<特徴> 広大なキャンパス フィリピン最高峰

<窓口教員> A科 上野先生

<大学参考Web> <https://upd.edu.ph/>



# DLSU デ・ラサール大学



<国・地域> フィリピン・マニラ

<期間> 2022年10月～2023年2月(2022年度)

<定員> 5名程度(欧州・フィリピン3大学と合わせて)

<学べる学部・学科>

Chemical Engineering, Computer Engineering, Electrical Engineering, Mechanical Engineering

<インターンシップ企業例> ヤマハ発動機、化成工業グループ

<宿舎> 学校至近の宿舎等

<Application提出期限> 2022年5月30日(2022年)

<派遣実績> あり

<特徴> フィリピン私学最高峰

理系に強い TOEFL550、IELTS6以上

<窓口教員> U科 山下先生

<大学参考Web> <https://www.dlsu.edu.ph/offices/ovperi/sep/dlsu-aims-programme/#>  
<https://www.dlsu.edu.ph/offices/ovperi/sep/inbound-student-exchange/#1544084444993-78b595db-47a3>





# SLU セントルイス大学

<国・地域> フィリピン・バギオ

<期間> 2022年8月～12月(2022年度)

<定員> 5名程度(欧州・フィリピン3大学と合わせて)

<学べる学部・学科>

Chemical Engineering, Electrical Engineering, Electronics Engineering,  
Mechanical Engineering, Mechatronics Engineering

<インターンシップ企業例> ヤマハ発動機、化成工業グループ

<宿舎>

<Application提出期限> 2022年1月14日(2022年度)

<派遣実績> なし

<特徴> ルソン島の丘の上、博物館を併設  
幼稚園～総合大学まで

<窓口教員> U科 山下先生

<大学参考Web> <http://www.slu.edu.ph/>



# TUM ミュンヘン工科大学

<国・地域> ドイツ・ミュンヘン

<期間> 2022年10月～23年2月(2022年度)

<定員> 5名程度(欧州・フィリピン3大学と合わせて)

<学べる学部・学科> School of Life Sciences, Department of Chemistry, Department of Mechanical Engineering, Department of Electrical and Computer Engineering, Department of Informatics, School of Engineering

<インターンシップ企業例> なし(学年歴に合わず)

<宿舎> 学内寮(制限あり)もしくは近隣のホテル等

<Application提出期限> 2022年5月15日(2022年度)

<派遣実績> あり(2018年度2名、2019年度1名、2022年度2名)

<特徴> 欧州最高峰の大学 **英語力高い学生のみ**

<窓口教員> L科 養王田先生

<大学参考Web> <https://www.international.tum.de/en/coming-to-tum/exchange-students/>

<https://www.tum.de/nc/en/homepage/>

<https://www.tum.de/en/studies/application-and-acceptance/dates-and-deadlines/dates-and-deadlines-19/>



# UG フローニンゲン大学

<国・地域> オランダ・フローニンゲン

<期間> 2022年9月～2023年1月(2022年度)

<定員> 5名程度(欧州・フィリピン3大学と合わせて)

<学べる学部・学科> Science and Engineering (Applied mathematics, Applied physics, Artificial intelligence, Astronomy, Biology, Chemical engineering, Chemistry, Computing science, Industrial engineering and management, Life Science and Technology, Mathematics, Pharmacy, Physics)

<インターンシップ企業例> 可能

<宿舎> 近隣の宿舎等

<Application提出期限> 2022年5月1日(2022年度)

<派遣実績> あり(2019年度1名, 2022年度1名)

<特徴> 1614年創立 **英語力高い学生のみ**

<窓口教員> L科 養王田先生

<大学参考Web> <https://www.rug.nl/about-us/who-are-we/university-in-your-language/>  
<https://www.rug.nl/fse/programme/exchanges-and-short-stay/scholarships/applicationexchange>



# UNIVPM マルケ工科大学

<国・地域> イタリア・マルケ

<期間> 2022年9月～2023年2月(2022年度)

<定員> 5名程度(欧州・フィリピン3大学と合わせて)

<学べる学部・学科> Biomedical Engineering, Building  
(and Architecture) Engineering, Civil (and Environmental) Engineering,  
Electronics Engineering, Information and Automation Engineering,  
Management Engineering, Mechanical Engineering

英語で学べる科目 <https://guide.univpm.it/guide.php?fac=ingegneria&lang=lang-en>

(イタリア語開講科目でも、担当教員に依頼すれば英語教材及び英語での試験は実施可能)

<企業インターンシップ> 過去にはないが、1週間程度であれば可能

<宿舎> 学内の寮は改修中につき学外のアパート等

<Application提出期限> 2022年6月15日(2022年度)

<派遣実績> あり(2019年度2名)

<特徴> 充実・安全な居住環境、自由な雰囲気(食・人・街よし)

喫煙者が多い 物価は安くない **英語での科目開講は少ない点に注意**

<窓口教員> A科 田中聡久先生

<大学参考Web>

[https://www.univpm.it/Entra/Universita\\_Politecnica\\_delle\\_Marche\\_Home/L/1](https://www.univpm.it/Entra/Universita_Politecnica_delle_Marche_Home/L/1)

[https://www.univpm.it/Entra/Universita\\_Politecnica\\_delle\\_Marche\\_Home/Video\\_presentation\\_of\\_the\\_University](https://www.univpm.it/Entra/Universita_Politecnica_delle_Marche_Home/Video_presentation_of_the_University)



# UM モンペリエ大学 <新規>

<国・地域> フランス・モンペリエ

<期間> 2022年9月～2023年1月

<定員> 5名程度(欧州・フィリピン3大学と合わせて)

<学べる学部・学科> 英語での開講科目はこちら↓

<https://www.polytech.umontpellier.fr/english/index.php/students/exchange-studentsb/international-courses>

Computer Science and Management, Biological and Food Engineering, Materials Science, Mechanical Engineering and Interactive Design, Water Science

<インターンシップ企業例> 期間的には可能

<宿舎> 寮あり

<Application提出期限> 2022年5月30日(2022年度)

<派遣実績> なし

<特徴> 南フランスの美しくカジュアルな環境で、  
工学系の基礎と最新の知識を学ぶ

<窓口教員> L科 黒田先生

<大学参考Web> <https://www.polytech.umontpellier.fr/english/>



# UoO オウル大学 <新規>

<国・地域> フィンランド・オウル

<期間> 2022年9月～12月

<定員> 5名程度(欧州・フィリピン3大学と合わせて)

<学べる学部・学科> 英語での開講科目はこちら↓

[https://weboodi oulu fi/oodi/vl\\_kehys.jsp?Kieli=6&MD5avain=&vl\\_tila=4&Opas=2188&Org=33587611&KohtTyypHierSulj=5](https://weboodi oulu fi/oodi/vl_kehys.jsp?Kieli=6&MD5avain=&vl_tila=4&Opas=2188&Org=33587611&KohtTyypHierSulj=5)

<インターンシップ企業例> 期間的には可能

<宿舎> 地元サービスを活用して近くで探すことが可能

<https://www oulu fi/forstudents/node/34948>

<Application提出期限> 2022年4月30日(2022年度)

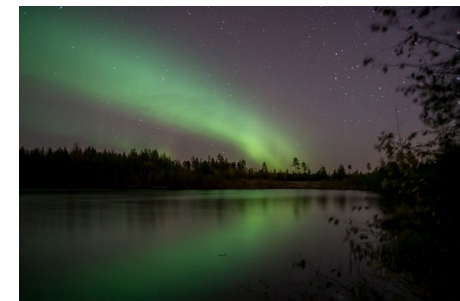
<https://www oulu fi/university/studentexchange/applying>

<派遣実績> なし

<特徴> 最先端の技術と自然が調和し、余裕のある北欧ライフスタイルが満喫できる大学 **英語力高い学生のみ**

<窓口教員> A科 梅林先生

<大学参考Web> <http://www oulu fi/english/>  
<https://www oulu fi/university/studentexchange>



オーロラ写真を提供して頂いた、小松兼一さん(Solailo)に感謝致します



# Semester Dispatch Program Flow

~2018年度UTM派遣中・杉浦くんの場合~

杉浦響也くん  
化学システム工学科  
マレーシア(UTM)派遣



① 留学前・事前研修(5単位) ※Webで英会話を猛特訓、派遣前TOEIC865

② 専門科目の履修(15単位)

ミニ卒研究プロジェクト(2単位)

<研究テーマ: Aim for zero emission of palm oil>

③ 企業インターンシップ(2単位)

<アマタ株式会社> 2週間程度

④ 事後研修・派遣報告会 及び英語力判定テスト 3月7日(木)(1単位)

今後の展望: **化学プラント関連**の講義で刺激を受け、その業界に興味湧いてきた。

**専門分野**を深めつつ、**海外勤務**も視野に入れ、帰国後も**英語の学習**を継続したい。

# 杉浦くんのマレーシアでの様子





## 5. 英語要件について

- TOEFL(ITP): 510点以上
- TOEFL(iBT): 64点以上
- TOEIC(IPテスト含む): 600点以上
- IELTS:5.0以上
- 英検準1級以上



※ただし、フローニンゲン大学、ミュンヘン工科大学及びオウル大学への派遣希望学生は、以下の英語基準を満たす者に限る。

- IELTS 6.5（各セクションで6.0以上）、
- TOEFL IBT92（各セクションで21以上）
- TOEFL CBT237（各セクションで21以上）
- TOEFL PBT580（各セクションで55以上）
- TOEIC785点以上（TOEFL ITPは不可）



※語学力を証明する書類を持っていない場合は、工学部2年生全員（必須）を対象に実施した2022年12月のTOEFL-ITP試験の結果を添付すること。

# まとめ：セメスター派遣留学とは

## A. 留学目的

語学, 異文化理解, 専門分野入門, インターンシップ, 学位取得, 研究活動

## B. 留学期間

短期(～数週間), 中期(1～6か月程度) 長期(10か月～)

## C. 留学時期

夏休み／春休み, 学期開講中, 休学・卒業後等

## D. 留学先

東京農工大学海外協定校(学生交流協定あり)／  
海外大学全般

## E. 留学身分

短期派遣学生, 交換留学生, 正規留学生

## F. 留学費用

授業料自己負担, 授業料免除, 奨学金受給



# 6. 学内選考基準

- ① 学業成績及び英語力
- ② 留学の目的及び計画が明確であること
- ③ 留学後の進路に対する計画・意識が明瞭であること
- ④ 国際交流活動への意欲や資質が備わっていること
- ⑤ 派遣国及び派遣先大学での学業及び生活に必要な適応性があること
- ⑥ 本学の代表としての適正・資質が備わっていること



# 7.学内募集・選考スケジュール

募集期間

- 募集期間 2023年1月5日(木)ー1月27日(金)

締め切り

- 申し込み締め切り **2023年1月27日(金)16:30**

第一次選考

- 第一次選考 書類 2023年2月上旬～

第二次選考

- 第二次選考 面接 2023年2月9日(木)

結果通知

- 選考結果通知 **2023年2月下旬**  
(ただし本年度後期の成績によって派遣取り消しの可能性あり)

## 8. 注意事項

- 応募する学生は、自身が所属する学科の教育委員（もしくは学科担当委員）に、**事前に了承を得てください**。その際に、2022年度前期までの成績表のコピーを持参ください。
- 3年次3学期(後期)実施の「**研究室体験配属**」(農工大各学科)は、学科ごとに研究室体験の実施方法，研究室配属の調整方法が異なります。各自で各学科窓口教員に問合わせて下さい。
- 応募書類：
  - ①申請書（所定様式）
  - ②英語能力を証明できるもの
  - ③成績証明書
  - ④パスポートコピー（取得していれば）
  - ⑤応募に際しての承諾書兼誓約書（所定様式）
  - ⑥**学科の教育委員または担当委員の承認メール**



# 9. 留学に関する質問・相談は・・・

## プログラムコーディネーター（留学計画全般・派遣先大学等に関する相談）

堀切 友紀子 准教授 グローバル教育院 工学部13号館504号室  
042-388-7622 / [horikiri@go.tuat.ac.jp](mailto:horikiri@go.tuat.ac.jp)

※来室の際はできるだけ事前にメールにてご連絡ください。



## 学科委員（学科での履修計画等に関する相談）

L科：篠原准教授，寺准教授

B科：山本准教授、田中洋介准教授，鵜飼教授

C科：前田准教授，帯刀講師、村上尚准教授、荻野教授

U科：大橋准教授、宮地准教授、レンゴロ教授

M科：池田准教授，花崎准教授

A科：久保准教授、藤田桂英准教授、瀧山准教授、堀田准教授

## 担当事務（応募用紙の記入・提出、TOEFL等に関する問い合わせ）

工学部教務係 [tkyomu1@cc.tuat.ac.jp](mailto:tkyomu1@cc.tuat.ac.jp) 管理棟 1階学生支援室

